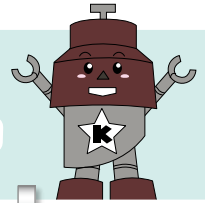


イベントスケジュール



9月

23日(祝)・24日(日)

第10回川口ツデーマーチ
場 戸塚中台公園ほか

24日(日)

第20回川口健康フェスティバル
場 リリア 音楽ホールほか

→8ページ



健康フェスティバル

10月

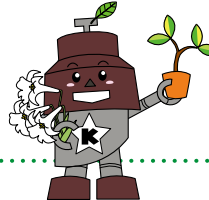
7日(土)~9日(祝)

川口グリーンフェスティバル2017
場 グリーンセンター

→5ページ

9日(祝)

七つの祝い



→21ページ

7日(土)~9日(祝)

第84回秋の安行花植木まつり
場 川口緑化センター

8日(日)

青木町公園陸上競技場改修記念式典
場 青木町公園総合運動場



市産品フェア

15日(日)

第16回ボランティア見本市
場 川口西公園

27日(金)~29日(日)

川口市産品フェア2017
場 SKIPシティ

→4ページ



ワンポイント

手話講座



手指や体の動き、表情を使って意思疎通を図る「手話」。

今月から始まるこのコーナーでは、分かりやすく、すぐに使える手話を紹介していきます。

今月の手話



ありがとう

左手の手の平を下に向け、右手で甲を一回切るしぐさをします。



わかりました

片手の平を胸に当てたまま、下に移動させます。

障害福祉課 ☎048-259-7926

ひと

一針に想いをこめて

置屋人 熊木 義雄さん(栄町1)

古くから日本人の暮らしを足元から支え、どこか懐かし、心地よい香りで癒しの空間を演出する「置屋」。一針一針心をこめて縫い、畳を作り続けて64年。その長年にわたる功績が称えられ、瑞宝単光章を受賞した。「畳の魅力をより多くの人に知ってもらい、日本文化である畳を守っていきたい」と意気込みを語る。

置屋だった父の影響で中学卒業後すぐにこの世界に足を踏み入れた。6人兄弟の長男で「置屋を継ぐのは当たり前」と置屋人になる選択に迷いはなかった。父の背中を見て学び、現場に出て腕を磨いていった。心掛けているのは父の教えである「寸法が何よりも大事」ということ。畳の世界に

入ったばかりの頃は、当たり前だと感じていたが、寸分の狂いもなくぴたりと納めるには大変な技術が必要だった。畳は間取りによって一つの大きさや厚みが異なる。四隅も直角とは限らず、一針一針の縫い目などを細かく確認する必要がある。「しっかりと床に納めるのは置屋の腕の見せ所だね」。

職人としての腕もさることながら、真面目で努力家な性格を買われ、32歳の時、埼玉県畳高等職業訓練校の指導員に。昭和44年の設立から現在まで約600人の卒業生を送り出し、約40人の訓練生を受け入れた。「ときどき教え子が会いに来てくれるのが凄く嬉しいね」と微笑む。今も訓練

